

私の職業はアーキテクト。建築士、建築家のアーキテクトではなく、ITシステムの構築にあたってその構造や設計方針を決めたり、技術的な課題の検討をしたりするITエンジニアの一職だ。大学での専攻は工学部応用物理学、といふと、いかにも理数系の得意な「リケジョ」がそのまま技術者としてのキャリアを選択したように聞こえるかも知れない。

だが実際のところ、どちらかというと自分は文系寄りの人間だと自認している。学生時代から数学や物理など

ITアーキテクト

凛としている

理系女性の挑戦



員仲間と
インターん向け
ハッカソン審査

の理系科目はそれほど得意ではなく、文系科目の方が成績は良かつたし、本を読むのが大好きで言葉遣いにはうるさいが、「数学的なセンス」がいい、とは多分言い難いだろう。そんな私がなぜ理系

まいな国語の問題よりも、公式や定石をあてはめ、すっきり解ける物理の問題の方が面白いと感じたから。そして、文系を自認しつつ、なぜ今もつてアーキテクトという技術者としてのキャリアを継続しているのかというと、この仕事は単に

アーキテクトとしての仕事のゴールは、お客さまのビジネスを支えるITシステムを構築すること、主な仕事の一つはそれを阻害する技術的な課題の解決をリードすることだ。

実はそこで最も重要なのは、技術的専門知識ではなく、コミュニケーション能力だと私は考えている。お客様とのやりとりにコミュニケーション力が求められるのはもちろんだ

が、それだけではない。着いた時の達成感は、

“難問”を解決する達成感

昨今のITシステムにはさまざまな先進的な技術が活用され、また日々新たな技術が導入されている。多くの難しい課題は、複数の技

術領域にまたがって存在しており、特定分野の高い専門知識がある、複雑な課題を一人で解決することは難だ。

無断転載・複写禁止©(株)日刊工業新聞社

企画協力・日本女性技術者フォーラム(JWEP)

(火曜日に掲載)

日本IBM GBS
事業、モバイル・イ
ノベーション担当
倉島 菜つ美



今プロファイル／1989年入社。エグゼクティブ・アーキテクト。モバイルを活用したソリューション構築チームをリード。IBWMアカデミー会員。JWEP法人会員。